目次

1.インストール

1-1 動作環境
1-2 オラクル XE のインストール
1-3 Java JDK のダウンロード
1-4 Java JDK のインストール
1-5 Adempiere のダウンロード
1-6 Adempiere のインストール
1-7 データのインポート
1-8 Adempiere サーバーの起動
1-9 Adempiere クライアントのインストール

1.インストール

1-1 動作環境

Adempiere ERP は Windows と Linux で動作させることができます。データベースシステムは、Oracle または、PostgreSQL が使用可能です。このマニュアルでは Windows Xp Professional と Oracle XE でのインストール方法を解説します。

インストールに必要な環境
OS:Windows XP Professional
CPU:2GHz 以上
メモリ:1G バイト以上(2G バイト以上を推奨)

1-2 オラクル XE のインストール

同じフォルダにある別ドキュメント(manual_ora_install)を参照してください。

1-3 Java JDK のダウンロード

Adempiere をインストールするには Java の実行環境(JRE)だけではなく Java の開発環境(JDK)が必要です。
インストールされていない場合は、下記 URL からダウンロードしてください。
http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html
2008 年 11 月 21 日現在、ダウンロードページに
・Java Runtime Environment (JRE) 6 Update 10
・JDK 6 Update 10
・JDK 6 Update 10 with Java EE
・JDK 6 Update 10 with NetBeans 6.1
などのダウンロードボタンがありますが、NetBeans や Java EE は不要なので、
JDK 6 Update 10 をダウンロードしてください。

1-4 Java JDK のインストール

JDK のファイルをダウンロードしたら、実行ファイルをクリックしてください。
インストーラーが起動するので指示に従ってインストールしてください。

インストールが完了したら、JDK のパス通します。
コマンドプロンプトに"jarsigner"と入力してください。
(コマンドプロンプトは、デスクトップ画面左下にあるウィンドウズのスタートメニューから、
「すべてのプログラム」>「アクセサリ」>「コマンドプロンプト」で実行します)
"jarsigner"と入力したときに、使い方のメッセージが表示された場合は、
すでに JDK のパスが通っています。
「'jarsigner' は、内部コマンドまたは外部コマンド、
　操作可能なプログラムまたはバッチ ファイルとして認識されていません。」
と表示された場合は、JDK のパスが通っていないので、パスの設定をします。
「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと、
「システムのプロパティ」が表示されます。
「詳細設定」タブをクリックして、ウィンドウの下のほうにある「環境変数」ボタンをクリックしてください。
「システム環境変数」の「Path」を選択して、編集ボタンで変数値に
JDK の bin ディレクトリをパスに追加してください。
例:
;C:\Program Files\Java\jdk1.6.0_10\bin
セミコロン(;)は区切り文字です。

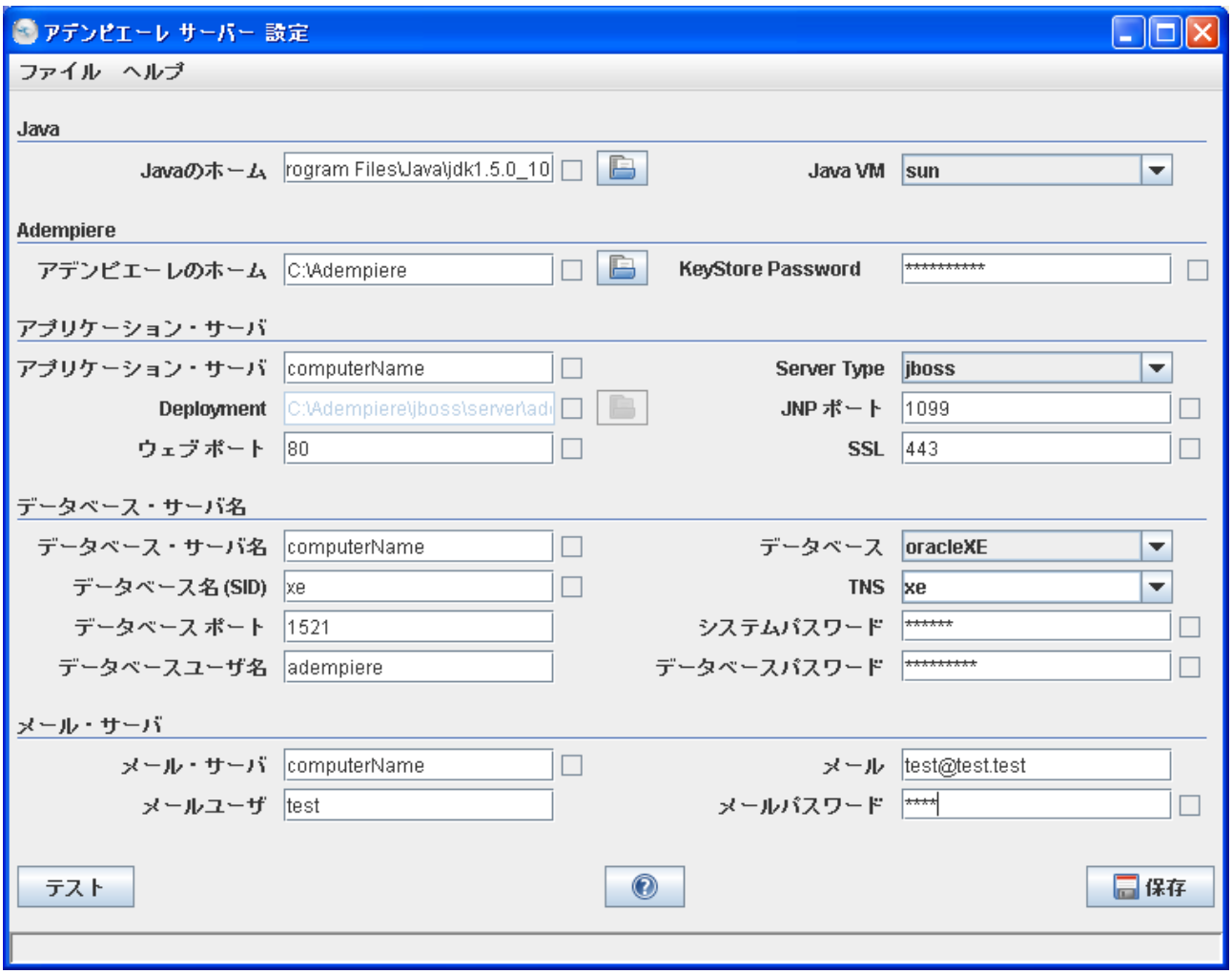
1-5 Adempiere のダウンロード

このマニュアルと同じフォルダに Adempiere350.zip があります。
(Adempiere のプログラム本体は、http://sourceforge.net/projects/adempiere/ から入手することもできます)

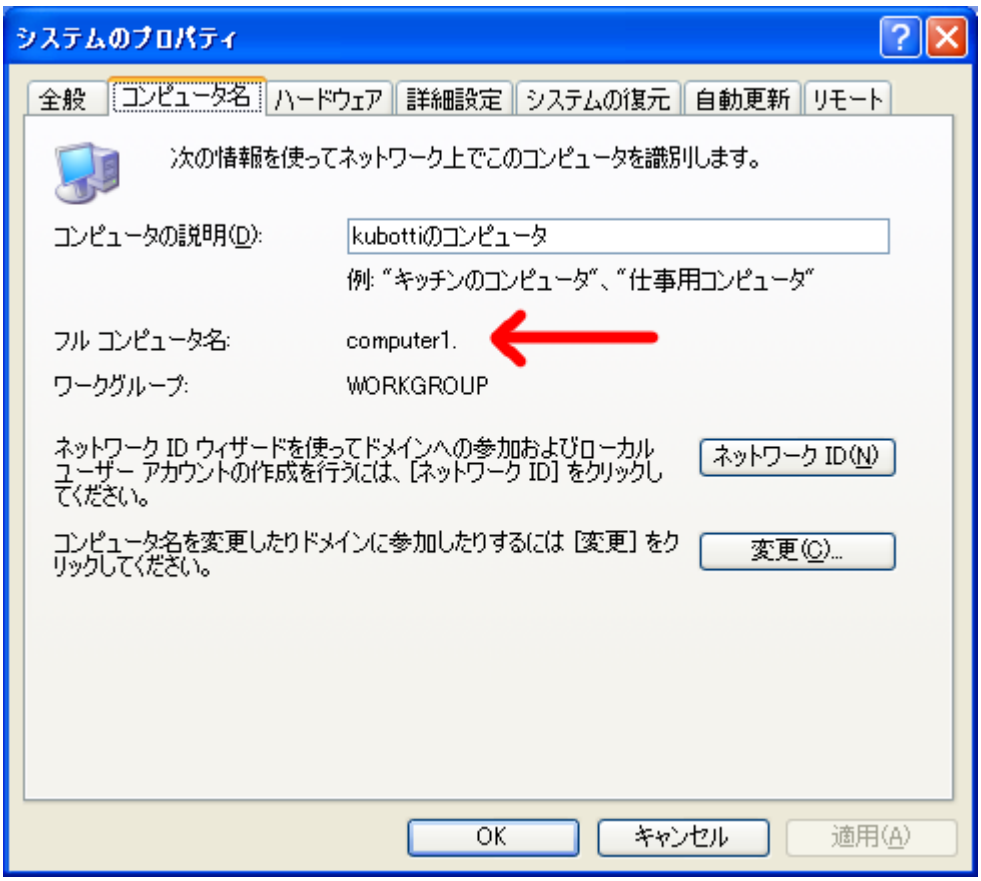
1-6 Adempiere のインストール

Adempiere の zip ファイルを解凍します。
解凍して出来たフォルダを任意の場所に移動させてください。
このマニュアルでは C ドライブの直下（C:\Adempiere）に移動させたという前提で説明します。別の場所に置いた場合はファイルパスを読み替えてください。

C:\Adempiere\RUN_setup.bat
をクリックしてください。
Adempiere の設定プログラムが起動します。



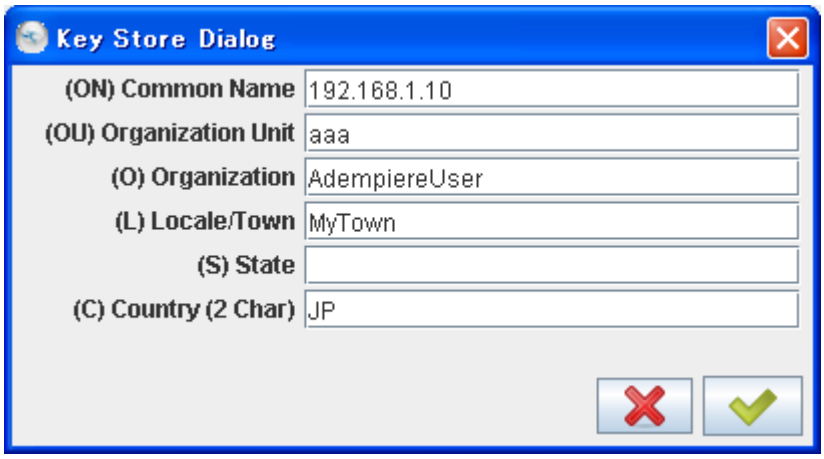
・「Java のホーム」ではインストールした JDK のディレクトリを指定してください。
・「Java VM」では、sun を指定してください。
・「アデンピエーレのホーム」では、adempiere の本体を置いたディレクトリを指定してください。
（このマニュアルでは C:\Adempiere に置いています）
・「KeyStore Password」では、任意のパスワードを設定して忘れないように、テキストファイルなどに保存したりメモをしたりして下さい。
・「アプリケーション・サーバー」では、adempiere インストールする PC のホスト名を指定します。
デスクトップのマイコンピュータを右クリックして表示される、「システムのプロパティ」ウィンドウの「コンピュータ名」タブにある、「フルコンピュータ名」がホスト名です。文字の最後にあるドット(.)は付けなくても問題ありません。



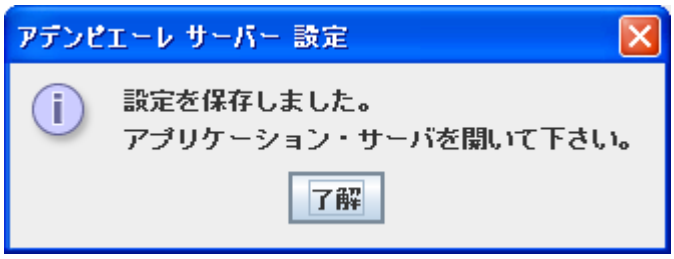
・Server Type では jboss を選択してください。
・JNP ポート、ウェブポート、SSL はデフォルトのままそれぞれ、1099、80、443 のままにしてください。
・データベース・サーバ名は「アプリケーション・サーバ」で設定したときと同じようにホスト名を入力してください。
・データベースは oracleXE を選択してください。
・データベース名(SID)は「xe」と入力してください。
・TNS は xe を選択してください。
・データベース ポートは、oracleXE のデフォルトの 1521 が設定されます。
・システムパスワードは、オラクル XE をインストールしたときに設定したパスワードを入力してください。
・データベースユーザ名は adempiere と入力してください。
・データベースパスワードは、任意のパスワードを入力してください。
データベースユーザ名とデータベースパスワードは、Adempiere のデータを保存するために使われる Oracle データベースのユーザー名とパスワードです。
・メールサーバーは「アプリケーション・サーバ」で設定したときと同じようにホスト名を入力してください。
・メール、メールユーザ、メールパスワードは、このマニュアルでは使用しないので、
test@test.test、test、test と入力してください。

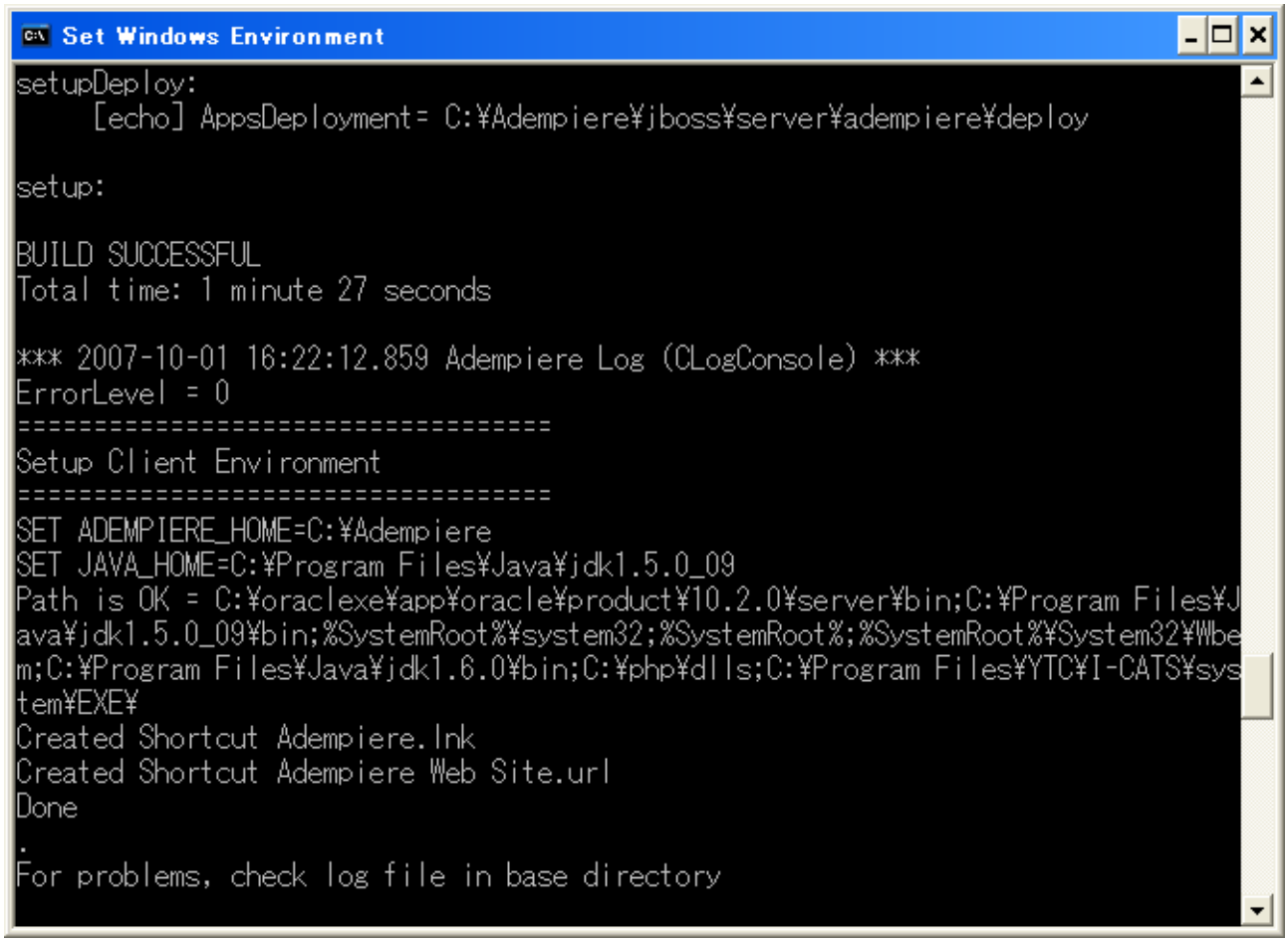
入力が終わったら左下にある「テスト」ボタンを押してください。

テストボタンを押した後に表示される「Key Store Dialog」を内容を変更せずに右下の OK ボタンを押してください。



入力がエラーが無ければ、右下にある「保存」ボタンを押してください。
Adempiere のライセンス(GPL)に同意するかどうかのウィンドウが表示されます。
同意出来る場合は、右下の「はい」をクリックしてください。
設定が保存されてビルドが開始されます。
ウェブポート(80)、SSL ポート(443)などが他のアプリケーションで使用されているとエラーメッセージが表示されます。
ポートを使用しているアプリケーションを終了してから、セットアップを実行し直してください。



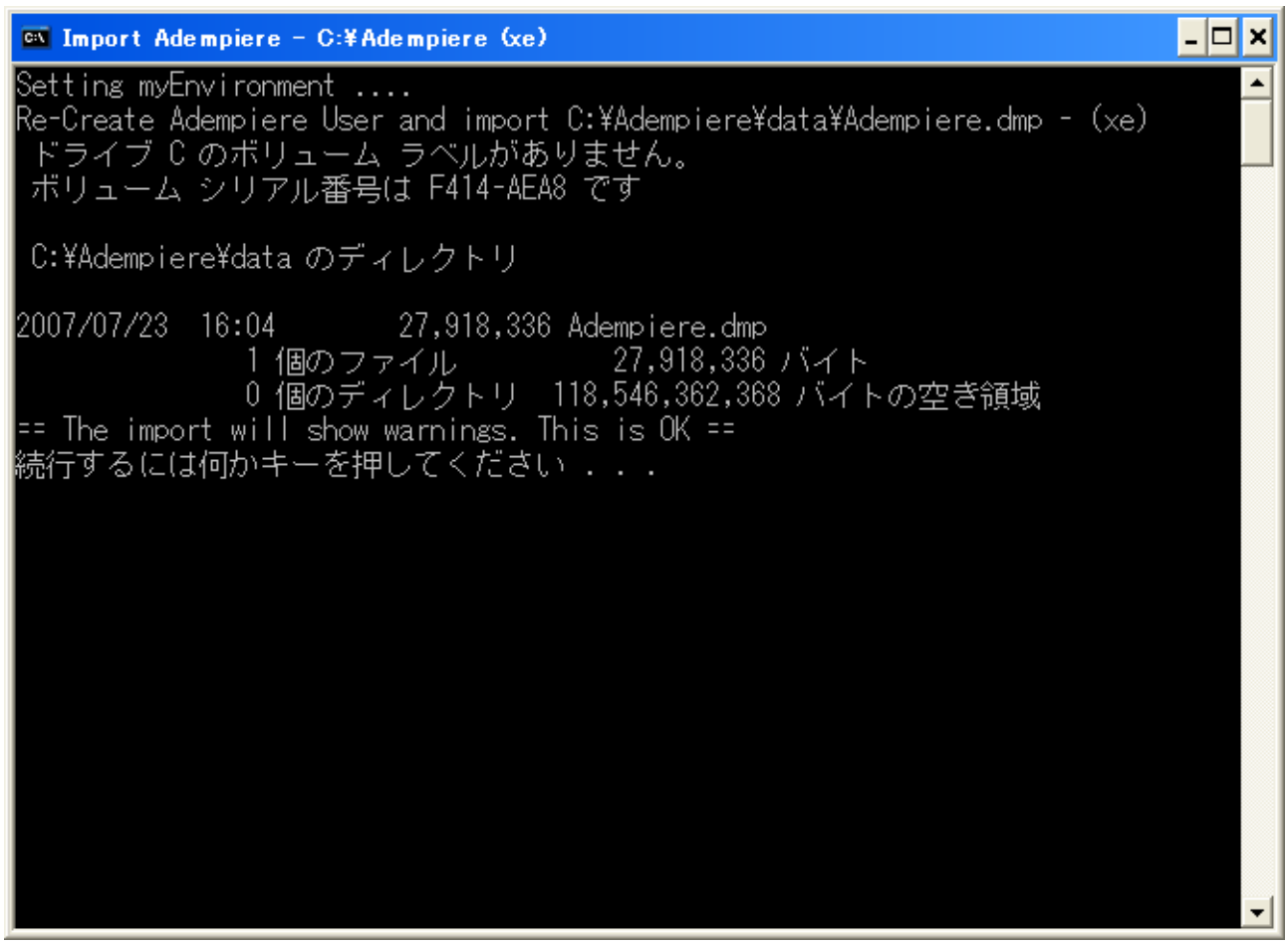


1-7 データのインポート

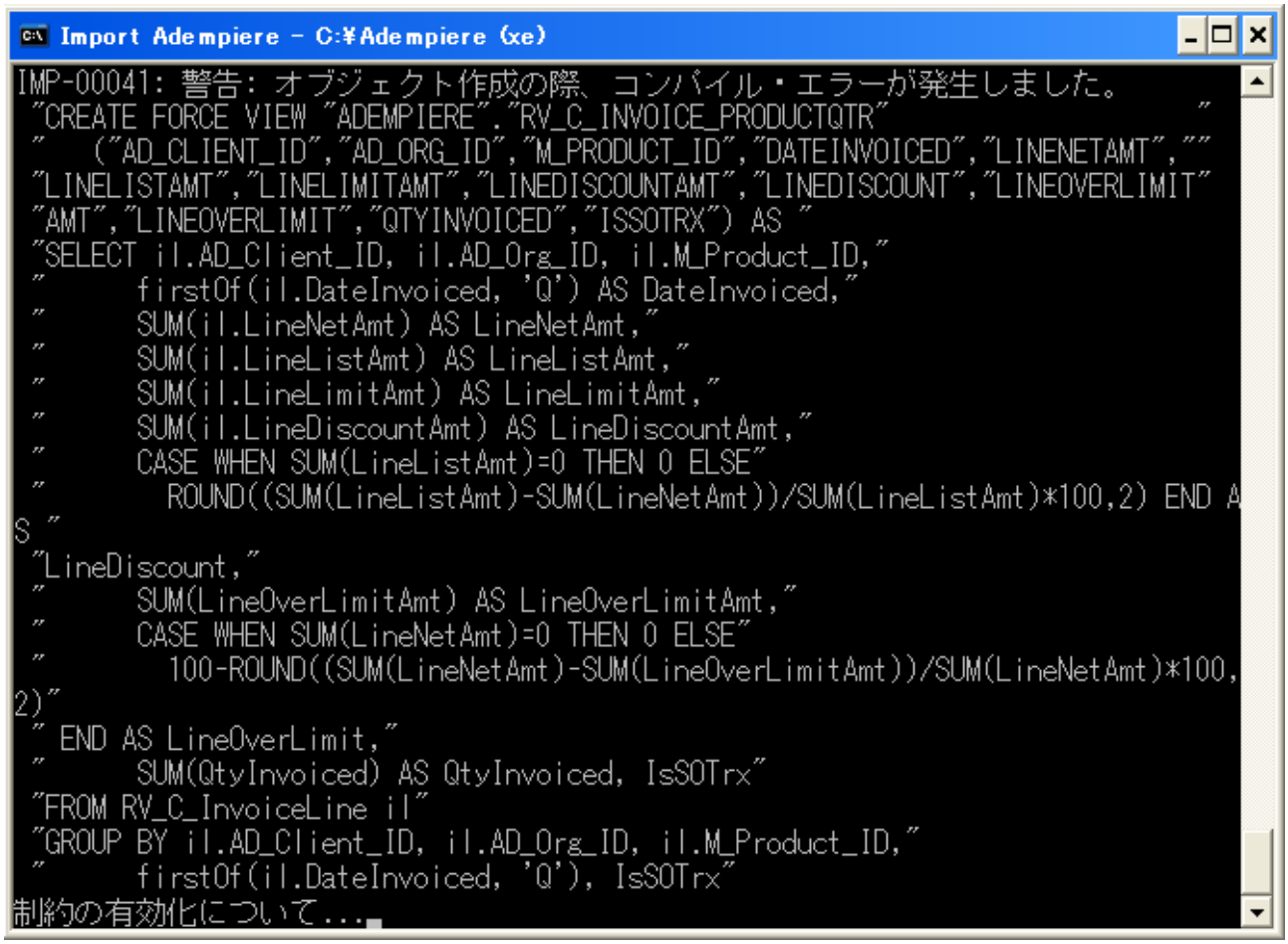
Oracle XE にデータのインポートを行います。
C:\Adempiere\utils\RUN_ImportAdempiere.bat
をクリックして実行してください。

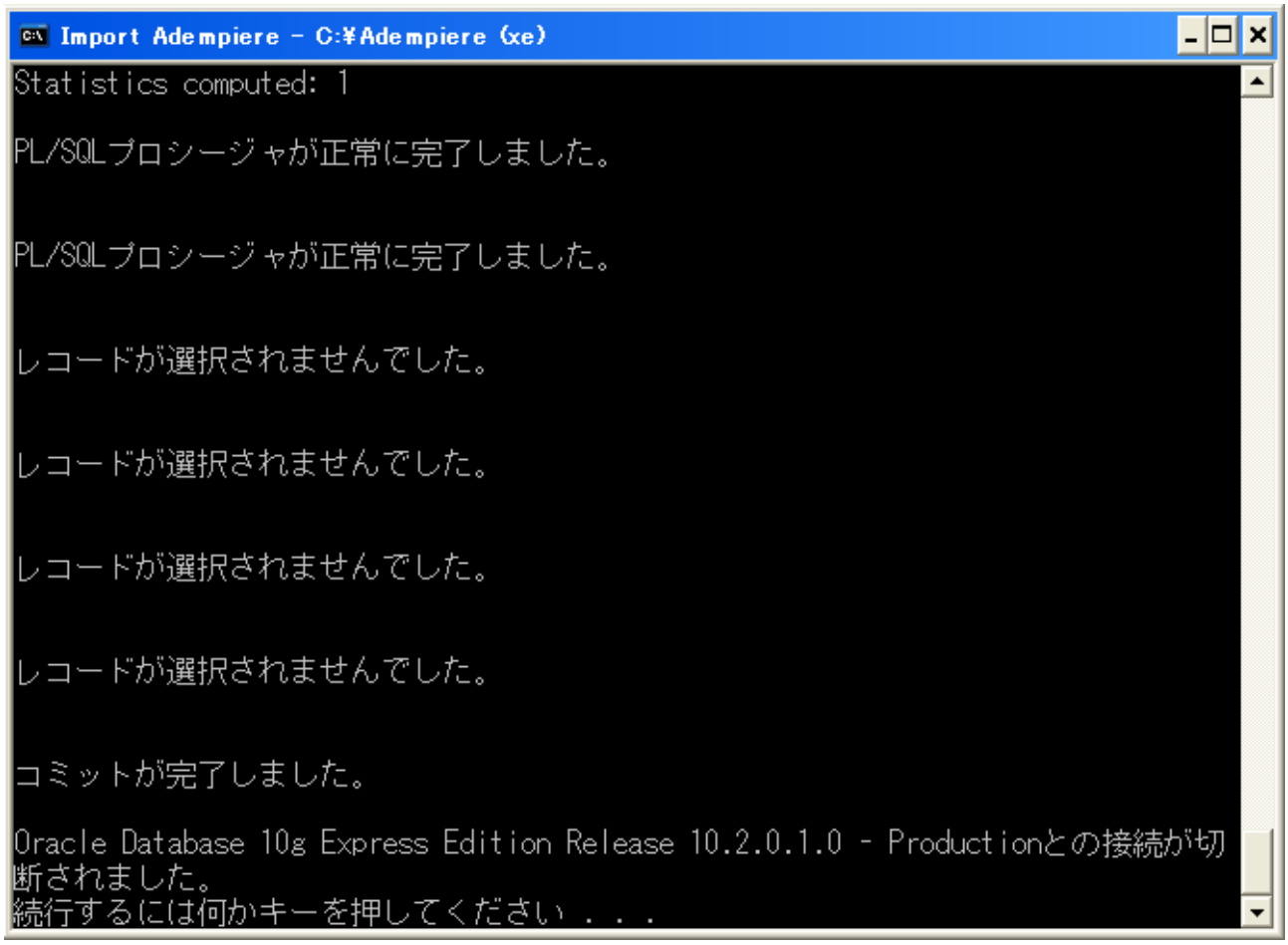


コマンドプロンプトが開いて、バッチファイルが実行されます。



処理中にエラーメッセージが表示されますが、バッチ処理の最後にエラーを解消する処理があるので途中で表示されるエラーは問題ありません。


Import Adempiere - C:¥Adempiere (xe)
IMP-00041: 警告: オブジェクト作成の際、コンパイル・エラーが発生しました。
"CREATE FORCE VIEW "ADEMPIERE"."RV_C_INVOICE_PRODUCTQTR"
" ("AD_CLIENT_ID","AD_ORG_ID","M_PRODUCT_ID","DATEINVOICED","LINENETAMT",""
"LINELISTAMT","LINELIMITAMT","LINEDISCOUNTAMT","LINEDISCOUNT","LINEOVERLIMIT"
"AMT","LINEOVERLIMIT","QTYINVOICED","ISSOTRX") AS "
"SELECT il.AD_Client_ID, il.AD_Org_ID, il.M_Product_ID,"
" firstOf(il.DateInvoiced, 'Q') AS DateInvoiced,"
" SUM(il.LineNetAmt) AS LineNetAmt,"
" SUM(il.LineListAmt) AS LineListAmt,"
" SUM(il.LineLimitAmt) AS LineLimitAmt,"
" SUM(il.LineDiscountAmt) AS LineDiscountAmt,"
" CASE WHEN SUM(LineListAmt)=0 THEN 0 ELSE"
" ROUND((SUM(LineListAmt)-SUM(LineNetAmt))/SUM(LineListAmt)*100,2) END A
S "
"LineDiscount,"
" SUM(LineOverLimitAmt) AS LineOverLimitAmt,"
" CASE WHEN SUM(LineNetAmt)=0 THEN 0 ELSE"
" 100-ROUND((SUM(LineNetAmt)-SUM(LineOverLimitAmt))/SUM(LineNetAmt)*100,
2)"
" END AS LineOverLimit,"
" SUM(QtyInvoiced) AS QtyInvoiced, IsSOTrx"
"FROM RV_C_InvoiceLine il"
"GROUP BY il.AD_Client_ID, il.AD_Org_ID, il.M_Product_ID,"
" firstOf(il.DateInvoiced, 'Q'), IsSOTrx"
制約の有効化について...



↑この画面と同じメッセージが表示されたらインポートは正常に実行されています。

1-8 Adempiere サーバーの起動

C:\Adempiere\utils\RUN_Server2.bat
をクリックすると JBoss サーバーが起動します。

1-9 Adempiere クライアントのインストール

C:\Adempiere\lib\AdempiereClient.zip が adempiere のクライアントプログラムです。
AdempiereClient.zip を解凍してください。このマニュアルではデスクトップに解凍します。
解凍して出来たフォルダに、RUN_Adempiere.bat というファイルがあるのでクリックして実行してください。
Adempiere クライアントが起動します。
最初に起動したときは GPL ライセンスに同意するかどうかのウィンドウが表示されるので、同意できる場合は、同意するを選んで先に進んでください。
これでインストール作業は終了です。

2-1 ログイン

Adempiere クライアントを起動するとログイン画面が表示されます。

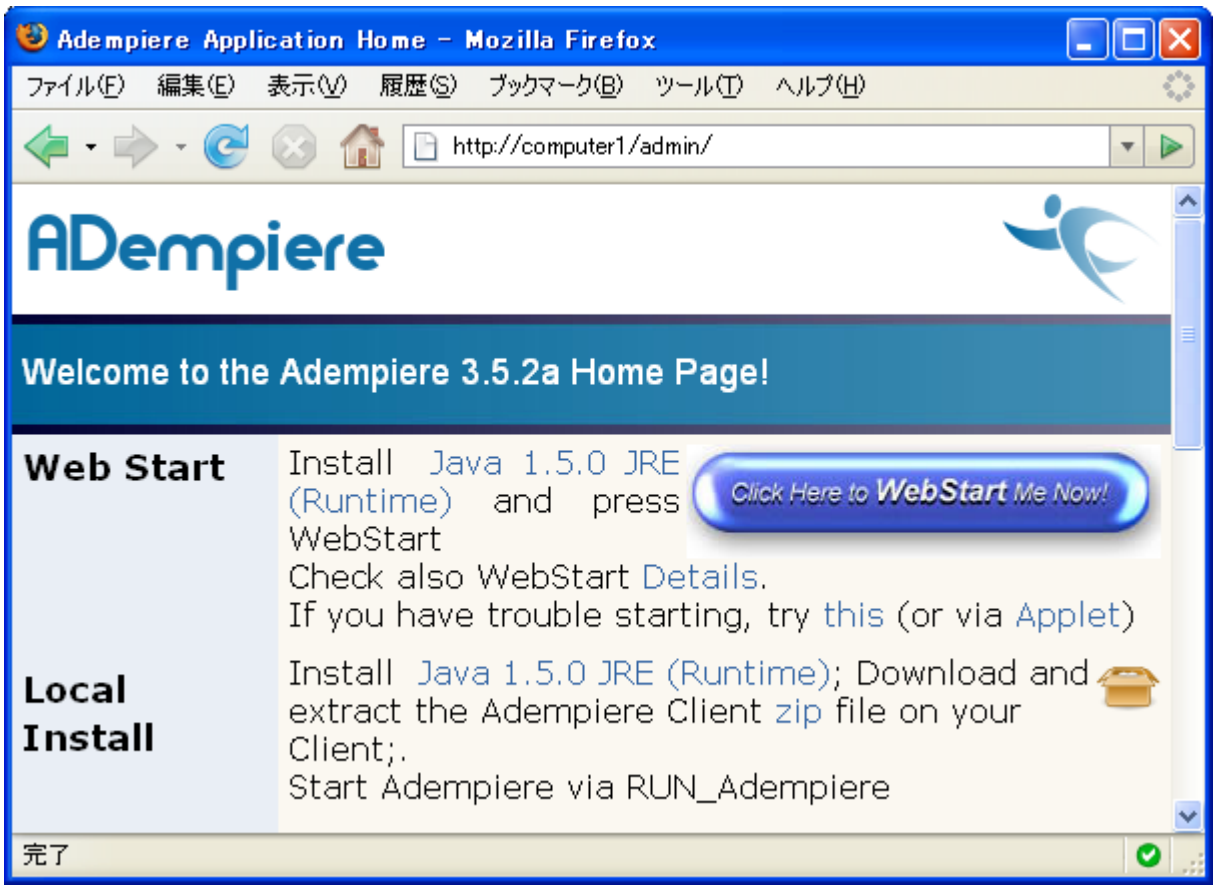


まず、標準で作成されている ID とパスワードでログインしてください。
「ユーザー」に SuperUser
「パスワード」に System
と入力してください。
言語は「日本語(JP)」を選択して、右下の OK ボタン（右下のチェックマークのボタン）を押してください。
認証済みの画面に移動したら、インストールは適切に完了しています。

ログイン画面の下に「データベースが見つかりません」と表示された場合は、Oracle が起動していないことが考えられます。
Oracle が起動しているかどうか確認してください。

2-2 Web UI のログイン

Jboss サーバーが起動している状態で、インストール時に設定したアプリケーション・サーバ名をブラウザに入力すると、ウェブ画面が表示されます。
（例：http://computer1/ ）
表示された画面の “Adempiere ZK webUI (beta)”をクリックすると、Web 経由で Adempiere にアクセスできます。
（例：http://computer1/webui/ ）


Adempiere Application Home - Mozilla Firefox
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)
http://computer1/admin/
ADempiere
Welcome to the Adempiere 3.5.2a Home Page!
Web Start
Install Java 1.5.0 JRE (Runtime) and press WebStart
Click Here to WebStart Me Now!
Check also WebStart Details.
If you have trouble starting, try this (or via Applet)
Local Install
Install Java 1.5.0 JRE (Runtime); Download and extract the Adempiere Client zip file on your Client;.
Start Adempiere via RUN_Adempiere
完了